

次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会等における意見聴取の概要

1 会の名称

平成 30 年度第 2 回県北広域振興圏地域運営委員会議

2 県側出席者

県北広域振興局

3 開催日時

平成 30 年 12 月 6 日（木）13：30～15：30

4 主な意見の概要

- ・ 東京方面を見がちな中、目先を八戸や北海道などの北に向けて、連携を強く押し出し、足元から固めるという考え方が素晴らしい。
- ・ 産業振興関係について、他の広域振興局と比べて、表現が弱いのではないか。
- ・ 幅広く色々なものを作れることが久慈・二戸地域のアパレル産業の強みである一方、繊維素材の確保が弱みとなっており、ブランディングの面では他圏域との連携が必要である。
- ・ 縫製業は女性就業者割合が 95% であり、女性あつての製縫業であるが、職場の高齢化が進み、いかに若年者を引き留めるかが課題となっており、企業の側も努力するが、県の支援もお願いしたい。
- ・ しいたけ栽培の経営規模を拡大したくても労働力確保が難しく、農福連携に期待しているが、障がい者は同じ作業が得意なので、農福連携の農家間の連携についても検討いただきたい。
- ・ ブランド化について、成果を上げることを焦らず、情報発信のノウハウがない生産者とそれをバックアップする県の役割分担を確立して、本物のブランド化を目指していただきたい。
- ・ 再生可能エネルギーについて、どのように中央にアピールし、また、地域で発生したエネルギーをどう地域に有効活用するのかを、ねらいとして定めていただきたい。
- ・ スポーツによる子どもたちの心身の健全な発育といった地域活性化も大切だが、持続可能な地域づくりには、子どもたちに目を向け、子どもたちが地域の魅力を発見するなどの取組による地域づくりが大切である。